



Daiwa House[®]
Group

共に創る。共に生きる。

大和ハウスグループ

CSRレポート2010

サイトレポート

大和ハウス工業株式会社 堺工場

工場の概要

住所	大阪府堺市堺区大浜西町7番地
電話番号	072-233-1191
従業員数	大和ハウス；29名 協力会社；108名
工場稼働時期	1960年10月期
事業内容	一般建築用鉄骨部材の製造、輸送
主要生産品	鉄骨部材
出荷エリア	近畿地区、中国・四国地区



工場長からのごあいさつ

当堺工場では、建築鉄骨の生産において、材料の納入、製品の製造及び集積、輸送の全てのプロセスにおける観点から、環境問題に配慮し環境と共生した生産活動を実施しています。
今後とも、「共創共生」の姿勢を強く持ち続け、「みんなでもっといい工場にしよう」を合言葉に改善を進めて参ります。

工場長 空谷 拓也

事業活動の環境配慮計画（EMP）

環境目的	管理項目	2009年度(目標)		2009年度(実績)	
		数値	単位	数値	単位
地球温暖化防止	CO ₂ 排出量（生産系）	604	t-CO ₂	590	t-CO ₂
地球温暖化防止	CO ₂ 排出量（物流系）	272	t-CO ₂	221	t-CO ₂
資源保護	廃棄物排出量	1,397	t	820	t
資源保護	水資源使用量	4,231	m ³	5,097	m ³
自然環境との調和	植樹本数	15	本	1	本
エネルギーコスト削減	エネルギーコスト（生産系）	28,271	千円	29,435	千円
自然環境との調和	どんぐり植付け本数	152	本	864	本
人の健康	VOCの排出量	29,250	kg	31,257	kg
地球温暖化	温室効果ガスの排出量	648	t-CO ₂	454	t-CO ₂

工場の沿革

西 暦	内 容
1960年10月	堺工場開設
1966年 9月	プレハブ住宅生産ラインの設置
1968年 4月	工場内に堺共同職業訓練所開設
1972年 1月	工場建屋を増設（鉄骨加工にNC機導入）
1975年10月	建設省告示1308号による「溶接継目強度を母材と同強度出来る為の鉄骨加工業者」についての資格取得
1984年 3月	鉄骨建設業協会の工場類別認定制度によるA類の認定取得
1984年 3月	建設省告示1103号2号規定による大臣認定取得
1989年12月	CADセンターの設置（I,CAD SPANシステムの導入）
1993年 3月	建築系ヒューマンプロジェクトの活動開始
1995年 9月	CAD更新（ICAD,SPAN,EWSへの変更）
1996年12月	ISO 9002：1994年版品質マネジメントシステム認証取得
1999年10月	鉄骨建設業協会類別認定制度による大臣認定取得
2001年 3月	国土交通省認定 鉄骨製作工場性能評価類別認定H類取得
2001年 6月	ISO14001 生産購買本部・堺工場を含む全国12工場一括認証取得
2001年 6月	ISO14001環境マネジメントシステム認証取得
2002年 8月	ゼロエミッション達成
2002年12月	ISO 9001：2000年版品質マネジメントシステム認証取得
2003年 3月	国土交通省認定 鉄骨製作工場性能評価類別認定H類更新取得
2004年11月	CO ₂ レーザー加工機4WKの設置（三菱電機：HVP-40CF）
2005年 9月	パネルコア溶接ロボット導入（神戸製鋼：鉄骨天吊マルチ）
2006年 3月	形鋼高速孔明け加工機導入（大東精機：CSD II 1050）

環境方針

堺工場環境方針

当工場は、建築及び住宅鉄骨製品の製造・集積・輸送及び、現送材の集積・輸送の全てのプロセスの観点から、環境問題に配慮し環境と共生した生産活動を実施する。

1 生産活動が環境に与える影響を定量的又は定数的に把握及び評価し改善すると共に、環境関連法規及び、当工場が同意するその他の要求事項を必要に応じ部門の自主的基準を定め、それを遵守します。

2 生産活動に伴い環境に有害な影響を与えている項目のうち、以下に記す内容を当事業所の重点項目として継続的改善及び汚染の予防に努める。

1 地球温暖化防止

- (a) エネルギーの使用について、節減及び新技術の導入を推進しCO₂排出量の削減を図る。
- (b) 副産物の減量化に努めると共に、処理等方法の変更を実現させ、CO₂排出量の削減を図る。

2 資源保護

- (c) 材料資源保護のため、ロス率改善を図り副産物（スクラップ含む）を削減する。
- (d) 水資源保護のため工場で使用する上水道の節約を促進する

3 自然環境との調和：工場敷地内に植樹を行い緑化を図る

4 敷地境界線での騒音レベルにおいて、基準値内を維持する為に、軽減策を継続する。

3 環境方針から活動をより明確なものとするために環境影響評価の結果及び生産購買部門経営計画書に沿って、目的・目標を設定し、定期的な見直しを行い、環境負荷の低減を目指す。

4 環境方針はサイト内の全従業員へ理解させるため、全体朝礼・掲示物・専用カードなどで周知する。

5 この環境方針は必要に応じて利害関係者に対し公表する。

大和ハウス工業(株) 堺工場 工場長 空谷 拓也

改訂：2009年6月8日

工場の活動（１）

省エネ活動（照度計利用で天井照明を自動消灯）

工場内の集積場付近に照度計を設置し、基準をクリアすれば自主的に照明を消灯することで省エネ活動を推進しています。
さらに効果を確実なものとするために、設定照度に達すると自動的に付近の天井照明が消灯するよう制御を組み込みました。

⇒ 電力消費によるCO₂排出量の低減
-1,200kg-CO₂/年



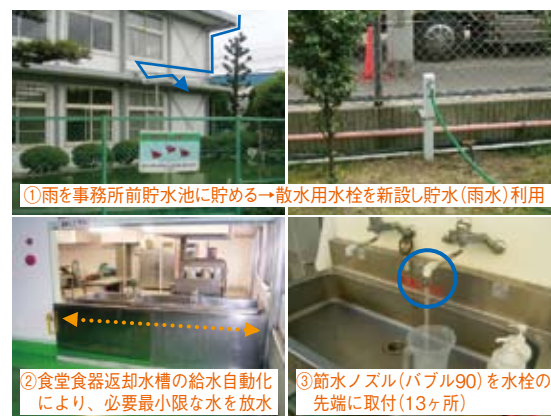
工場の活動（２）

水資源保護活動（節水対策と雨水利用）

上水道の使用量削減に取り組んでいます。

【節水】と【雨水利用】をテーマとして、以下のような活動を行いました。

- ①事務所前の貯水池に屋根上の雨水が流れ込むように樋を改修し、その水を散水用として利用できるよう専用水栓を設置しました。
⇒ 上水道使用量削減 -8m³/年
- ②食堂食器返却水槽の給水をセンサー設置で自動化しました。
⇒ -106m³/年
- ③節水ノズルを既設の各手洗い水栓先端に取り付け、手洗いに使用する水量を約70%低減させました。 ⇒ -29m³/年



工場の活動（３）

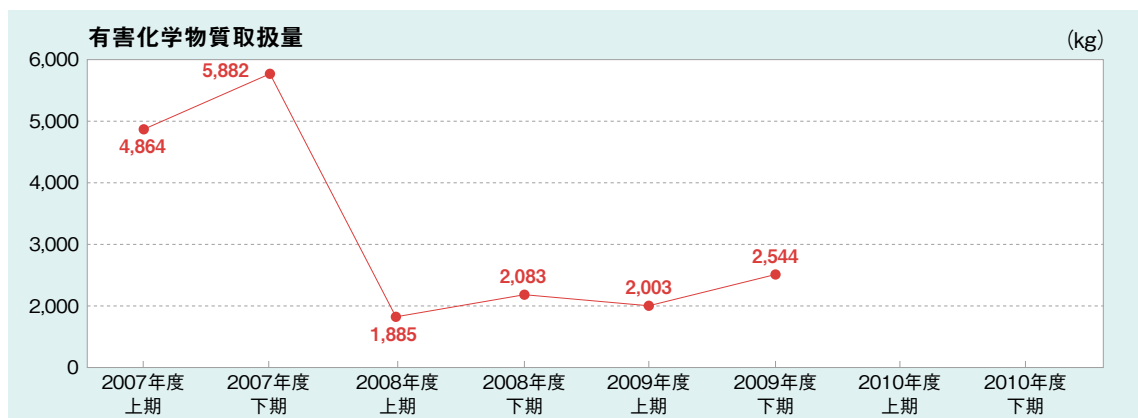
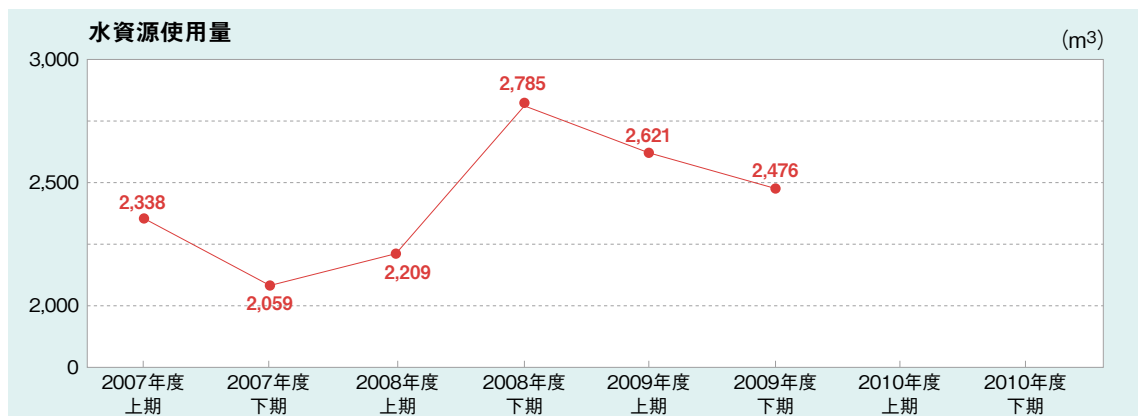
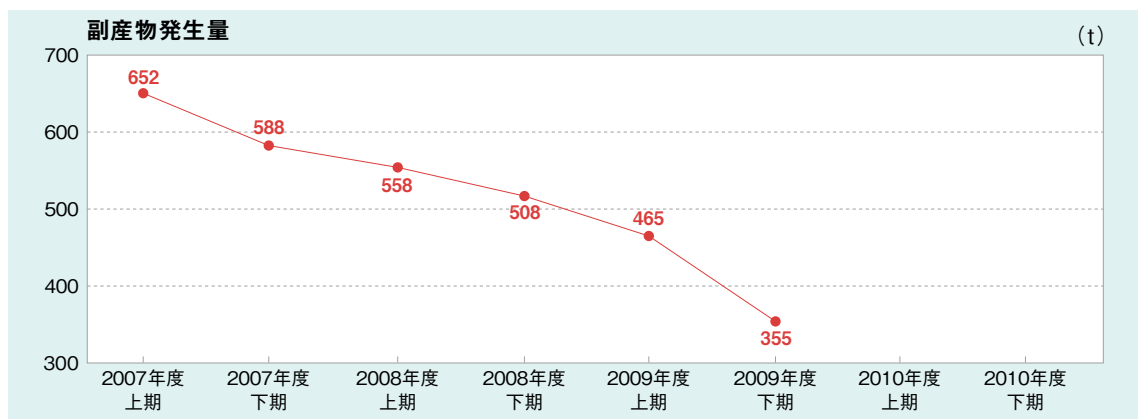
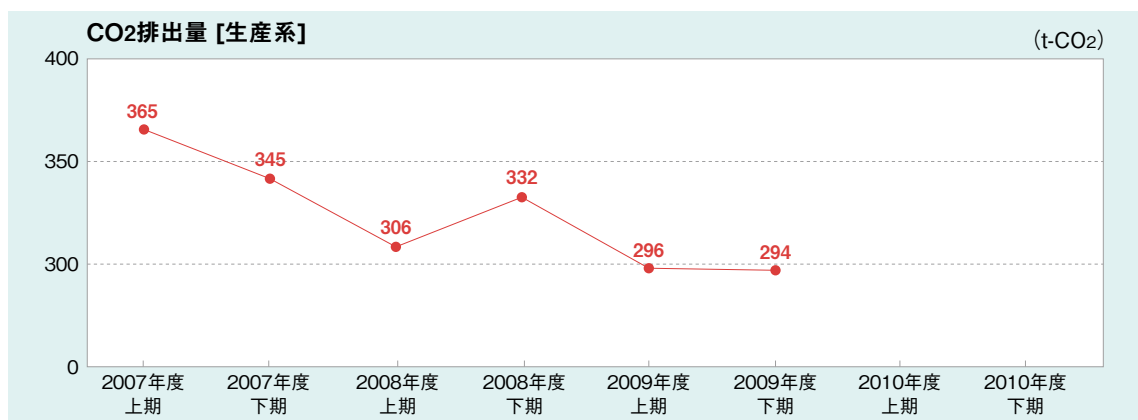
社会貢献活動（堺市大浜西町クリーン運動）

当工場が立地する堺市堺区大浜西町は、路上駐車多数・不法投棄（大型から家庭ごみ、ときには塗料等の有害化学物質も投棄）が耐えない地域です。

そこで地域内の企業に呼びかけ【大浜西町「道路・歩道」利用者のマナーアップを考える意見交換会】を主催し、モラルの向上により地域の美化・トラブル低減につながりました。



工場環境パフォーマンス



環境法令等の順守状況

水質測定の結果（浄化槽）

大項目	NO	測定項目	法規制値	測定結果	判定
			浄化槽法	H22年02月25日	
一般項目（有害物質以外の項目）	1	水素イオン濃度（pH）（海域以外）	5.8以上8.6以下	7.8	合格
	2	生物化学的酸素要求量（BOD）	20mg/L	0.1mg/L未満	合格
	3	化学的酸素要求量（COD）	—	—	—
	4	浮遊物質量	—	—	—
	5	ノルマルヘキサン抽出物質量	—	—	—
	6	フェノール類含有量	—	—	—
	7	銅含有量	—	—	—
	8	亜鉛含有量	—	—	—
	9	溶解性鉄含有量	—	—	—
	10	溶解性マンガン含有量	—	—	—
	11	クロム含有量	—	—	—
	12	大腸菌群数	—	—	—
	13	窒素含有量	—	—	—
	14	磷含有量	—	—	—

法令及び条例規制値超過について

2009年度は、行政等からの処分や改善命令はありませんでした。

その他法関連に関する事項

2009年度は、行政等からの処分や改善命令はありませんでした。